



おんまん! 板崎地区で花見開催

(写真は3月29日行われた板崎地区の花見の様子)

目次

3月の定例会	2~3
一般質問	4~9
地域の宝 小川大王神社	10

球磨村世帯数 1,552世帯
人口 4,057人 男:1,923人 女:2,134人
(平成27年4月1日現在)

子育て支援を充実

高校生までの医療費無料化と

給食費の50%補助へ



3月定例会は、3月9日から12日までの4日間の日程で開催し、新年度予算5件、平成26年度補正予算5件、条例12件を審議、いずれも原案のとおり可決しました。また、議員発議による議会委員会条例の一部改正も原案のとおり可決しました。一般質問では6人が登壇し、施策や行政課題など執行部の考えをたいただきました。

施政方針演説

6つのテーマ

3月定例会の冒頭、柳詰村

長が、

① 共助のむらづくり

② 農林業の振興

③ 地域観光資源の活用

④ 高齢者にやさしい

⑤ 若い世代が誇りを

⑥ 若い世代が誇りを



持てるむらづくり

⑥ 抜本的な治水対策と

急傾斜地対策

の6つのテーマで27年度の主要施策と予算の概要について施政方針演説を行いました。新しいものでは、木質バイオマスボイラーの導入（一勝地温泉かわせみ）、定住促進団地の整備（神瀬地区）、子ども医療費助成年齢18歳までの延長、小中学校ICT環境の充実、球磨川水系の防災・減災ソフト対策等です。

常任委が2つに

活動に期待

26年度の改選より、議員定数10名になったのを受けて、議会委員会条例を一部改正し、これまでの「総務常任委員会」「文教厚生常任委員会」「経済建設常任委員会」「経済建設常任委員会」

一般質問

6人が登壇

一般質問には、田代利一議員、嶽本孝司議員、高澤康成議員、多武義治議員、舟戸治生議員、小川俊治議員が登壇、かわせみ改革や豊かで活力に満ちたむらづくり、地方創生、ダムにやらない治水対策、防災・減災対策、空家対策と廃屋対策、これまでの公約実現に向けた進捗について、運動公園の樹木伐採

新年度予算

一般・特別合計

一般会計は、歳入歳出それぞれ33億63,000千円、国民健康保険特別会計6億44,400千円、後期高齢者医療同54,060千円、介護保険同7億00,927千円、簡易水道同65,000千円で、総額48億27,387千円となりました。一般会計の歳出の主なものは、高校生までの医療費無料化と給食費の50%補助、神瀬の定住促進団地整備、高齢者福祉センターせせらぎの屋上改修工事、高沢分館体育館改修工事、一勝地温泉かわせみバイオマスボイラー設置工事、田代、楮木地区急傾斜地崩壊対策事業、通学路カラーライン整備事業等です。

平成27年3月定例会 議案等の審査結果

番 号	件 名	議決結果
議案第1号	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決
議案第2号	球磨村教育委員会教育長の服務に関する条例の制定について	原案可決
議案第3号	球磨村指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
議案第4号	球磨村地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
議案第5号	球磨村子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例の制定について	原案可決
議案第6号	球磨村学校給食共同調理場設置条例の制定について	原案可決
議案第7号	球磨村課設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第8号	球磨村行政手続条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第9号	球磨村介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第10号	球磨村指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第11号	球磨村指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第12号	球磨村子ども医療費支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第13号	平成26年度球磨村一般会計補正予算について	原案可決
議案第14号	平成26年度球磨村国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第15号	平成26年度球磨村後期高齢者医療特別会計補正予算について	原案可決
議案第16号	平成26年度球磨村介護保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第17号	平成26年度球磨村簡易水道特別会計補正予算について	原案可決
議案第18号	平成27年度球磨村一般会計予算について	原案可決
議案第19号	平成27年度球磨村国民健康保険特別会計予算について	原案可決
議案第20号	平成27年度球磨村後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決
議案第21号	平成27年度球磨村介護保険特別会計予算について	原案可決
議案第22号	平成27年度球磨村簡易水道特別会計予算について	原案可決
発議第1号	球磨村議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決

新年度からの班長手当は

【答】3月と4月の区長会で説明し補正で対応する

田代 利一 議員

1. かわせみ改革について
2. かわせみ周辺の施設利用について
3. 商品券の利用状況
4. 区長、班長手当の見直し
5. 障害者支援について

田代議員

一勝地温泉かわせみについて、経営改善の兆しが見え始めた中、労働基準法違反が発覚した。今後、社員とともに再生に向け、新たな経営改革に取り組みと思う。まずは、かわせみ自体で赤字になるよう緊張感をもって働くという意識をもつことが必要なことだと思うが。

柳詰村長

違反事項として示された是正勧告は、監督署の指導を仰ぎながら改善を図った。経営面でも、社員の接待マナーの教育を行い、全員が心を一つにしてお客様が喜んでいただける職場の環境づくりを行わなければならない。新年度に向け、新たな組織のもとで、会社の組織体系をつくり上げ、しっかりと管理したい。

田代議員

来ていただく人を増やす

ために、入浴料を現在の400円から、前の300円にすればと言ってきたが、検討したのか。

部総務企画課長

検討中だ。

田代議員

検討する時間が長い。300円に戻して客数を増やすべきだ。

部総務企画課長

4月からの新体制で協議する。

田代議員

かわせみ入口にある、石の交流館やふるさと振興センター、文化交流館、あづまの利用状況を伺う。

柳詰村長

石の交流館が年間3,000人前後の利用で、ふるさと振興センターは、農産加工グループ「あじさい」が年間通じて利用している。文化交流館は、現在、食事ができる「一勝地茶屋」として利用している。あづまやは年間10件の利用状況だ。

田代議員

ふるさと振興センターは、年間通じて農産加工グループ「あじさい」が使用しているが、他の人が利用したいとの申し出はないか。

宮本産業振興課長

以前、別のグ

ループが利用できないかとの問い合わせがあった。現在、別のグループが利用できない状況は、公共施設であるという観点からは、そぐわない面もある。

田代議員

次に、平成27年4月より、区長と班長の手当を見直すとのことだったが。

柳詰村長

具体的には、班長の位置づけ、役割の明確化、それに伴う手当、活動費の内容について見直したい。今回、提案したいと考えていたが、区長への内容説明が不十分との判断より、4月からは見送り、今後の区長会での説明後になる。

田代議員

地域の人にも、4月から班長手当が支給されることは伝えてあるのだが。

柳詰村長

3月と4月の区長会で説明し、理解していただいた上で、補正予算で対応する。

田代議員

次に、障害者、特に車い



文化交流館は現在一勝地茶屋として利用されている

すが必要な人にとっては、移動がいちばんの問題となる。本村での外出支援について伺う。

柳詰村長

村が行っている障害者地域生活支援事業の中で、移動支援事業があり、屋外での移動が困難な障害のある方に、介護人が個別につき添う外出のための支援を行っている。また、コミュニティバスの運行を開始し、料金を100円とするなど、利用しやすいようにしている。しかし、車いすの方など乗車が困難な方もおられるので、今後、支援の方法も考えていかなければならないと感じている。

かわせみの経営改善策は

【答】経費削減と営業の強化と従業員の教育を図る

嶽本 孝司議員

1. 「かわせみ」の運営について
2. 地方創生について
3. ダムによらない治水対策について
4. 安心、安全な環境について

嶽本議員 かわせみの、今後の労務管理と組織管理についての改善点は。

柳詰村長 昨年9月、労働基準監督署より是正勧告を受けた。違反事項として示された10項目について、項目ごとに監督署の指導を仰ぎながら改善を図り、3月5日の報告をもって適正であるとの判断をいただいたところである。

嶽本議員 経営改善策を伺う。

柳詰村長 経費削減として、現在、水道光熱費、電気料の節減を図るため、施設の屋上に太陽光発電のソーラー設置を行っている。

また、今後の予定として、木質バイオマスボイラーの導入を検討しているところである。また、売り上げ向上策として、利用客の増加を図るため、営業の強化を図ること、サー

ビスの徹底のため、従業員の教育を図ること、お客様が喜んでいただける職場づくりをつくり上げることが大切である。

嶽本議員 次に、地方創生について、球磨村としての方向性を伺いたい。

柳詰村長 球磨村では、まち、ひと、しごと創生戦略の策定及び推進にあたり、全課あげて取り組むことを目的として、2月2日に、私を本部長として、球磨村まち、ひと、しごと創生総合戦略本部を設置した。まず、国の補正予算に取り込まれた地域活性化、地域住民生活等緊急支援交付金で取り組む事業について協議を行い、本議会の補正予算を計上したところである。

27年中には、人口ビジョンの策定、総合戦略を策定したい。

嶽本議員 次に、ダムによらない治水対策として、現在、工事中の小川の築堤の堤防を避難場所や避難道路として使用できないか伺う。

川口建設課長 小川川の建設事業について、12月議会でも説明したが、

現在は、球磨川の増水区間の影響区域だけの整備事業である。平成27年で完成することになっているが、整備事業については、右岸側については、消防車の利用があるとか、地域の災害対応もあるので、地域の要望も取り入れた形で、整備が進められている。

また、質問にあった避難道、避難施設としての利用は、今後、振興局と打ち合わせしながら進めて行きたい。

嶽本議員 沖鶴橋にある外灯は、現在も点灯していないが。

部総務企画課長 12月に沖鶴橋の村管理の外灯について要望があり、すぐに業者に依頼をして点検を行った。

その際の答えが、点滅器の故障との事だった。再度、業者に依頼したところ、断線の可能性があ

り線の張りかえを発注させている。
嶽本議員 月1回の課長会があつていと聞いているので、課長士の連絡を取りあつて、連携をとってもらいたい。



経費削減の目的で設置されたソーラーパネル（かわせみ本館）

空き家対策としての再利用の考えは

〔答〕 上下水道の完備がされておらず財政面で慎重に対応

高澤 康成 議員

1. 空き家対策と廃屋対策と住民ニーズに対する定住促進の考え方について
2. これまでの公約実現に向けた進捗について

高澤議員 空き家調査、アンケート実施後の状況把握と定住促進に向けた対策の考えは

柳詰村長 廃屋などの放置家屋については、適正な管理が行われておらず、防災、衛生、景観などの住民生活環境への影響が懸念される。利活用、廃屋対策は分析が必要だ。

部総務企画課長 現在、利用可能13戸、不可能50戸で集計した。残りについては再調査を行う。

高澤議員 空き家対策等特別措置法による勧告、命令について村として行うのか。

柳詰村長 措置の実施のための立ち入り調査、指導そして勧告、命令、代執行などの措置が可能となったが、今後の検討課題である。

高澤議員 定住促進は、村営住宅の建設もあるが、空き家の再利用についての考えは。

柳詰村長 山間部においては、上下水道整備が完備されておらず、財政面で慎重にならざるを得ない。

高澤議員 次に、医療費、給食費など子育て支援は手厚くなっている。村内永住、受け入れをアピールするためにも、環境づくりが大事だと思うが。

柳詰村長 子育て支援は県下でもトップクラス、先を歩んでいる。今回、神瀬地区に2棟の建設を計画した。限られた財政だが、今後、誠意を持って進める。

高澤議員 村営住宅の建設と宅地造成、分譲も検討してもらいたい。

次に、公約実現に向けての進捗状況について伺う。

柳詰村長 力強いふるさと、躍進する球磨村へ向けた7つの施策実現化を図り、課題を探り、その解決策を見出す取り組みとして施策ごとに職員プロジェクトチームを編成し、報

告書をまとめた。

報告書は、第5次球磨村総合計画の後期5年間の計画に位置づけし、項目ごとに課題に対する解決策の提言を行う。具体案については、予算編成時などに生かし、予算反映と事業実施ができた。平成27年度予定している。球磨村版の総合戦略策定に、職員プロジェクトを継続し、村創生に向け取り組む。

高澤議員 職員からの報告書についての感想は。

柳詰村長 忙しい中、精一杯の議論でまとめ提言してもらった。

高澤議員 農林業の振興で所得の向上、第6次産業化の推進を支援していきたいと公約があるが、販売面における物産館の売り上げが激減する中、目標達成に向けての取り組みを伺う。

宮本産業振興課長 かわせみ物産館の外販を通しての販売は、1回の経費が15万かかる。かわせみ物産館としての収益につながるらないことから、現在取り組んでいない。

高澤議員 所得の向上を図る上で販売について、縮小ではなく、別方向での踏み込みが必要。奨励作物育成事業助成金の増額、新規就農者、専業農家の支援の考えは。

柳詰村長 外販を続けると赤字が膨らむことから、自重したい。生産者自体が運営できる組織が必要。奨励作物育成助成金については、厳しい予算の中で精一杯の予算だ。

高澤議員 販売面での地産地消の観点からの考えは。

中根教育長 学校給食、条例改正の提案もあり、地産地消に努める。具体的な内容については検討する。



増える空き家の利用法は

村長として、この3年間の所感は

〔答〕7つの公約は、その方向性に動き出している

多武 義治 議員

1. 村長としてのこの3年間の所感
2. 運動公園の樹木伐採について

多武議員 7つの公約を掲げ、村長に当選して3年が経った。村長としての、この3年間の所感を伺う。

柳詰村長 「光陰矢のごとし」村民の方からの信頼と期待に応えるべく、決意と情熱をもって、村民の幸福実現に全力で取り組んできた。前村長のやり遂げたかった事業を実施し、7つの公約は、その方向性に動き出している。残された1年間も力強い村をつくり上げるため、全力で取り組んでいく決意だ。

多武議員 これまでの公約に、私の意見を交えながら伺う。まず、林業の6次産業化の北海道下川町の取り組みに感銘を受けている。それは、生産、加工、販売が確立され、森林をあくまで活用し、雇用が確保されていることだ。これからは、農業とともに、林業の6次産業化にも取り組んでいく必要がある。

柳詰村長 林業に関して、やり方によっては、雇用が増えると思う。これにより、定住促進にもつながる

し、所得の向上にもなると思う。下川町の取り組みを勉強し、林業の6次産業化にも取り組むみたい。

多武議員 共助の村づくりを進めるためには、地域の行事などの活動を通じて地域づくりを推進しなければならぬと言われている。そこで、特に若手の役員職員に積極的に参加するよう指導してほしい。理由として、地区からの案内に自分の用事が一番で、地区の行事に参加することが2番の考え方になって、欠席しているケースがある。行事や集会に参加することを、重要だと思っていない感じがする。

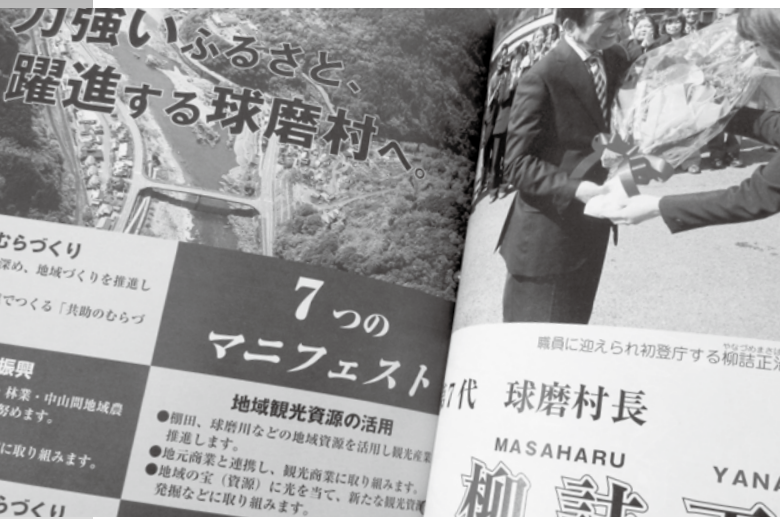
柳詰村長 地区行事に、職員がなかなか参加できていないことは、複数の地区から意見をいただいている。内部で検討し対処する。

多武議員 高齢者にやさしい村づくりの中で、買い物弱者対策については、村民アンケートの結果、必要性を感じなかったとのことだが、実際、買い物に困っている人がいるのも事実だ。

柳詰村長 この問題については、村内3ヶ所の福祉施設で何かできないか。あるいは、営業されてい

る業者に燃料代補助などの支援ができないかの意見がある。検討する。

多武議員 「地方消滅」という本の中で、球磨村の人口が現在の約4千人から、2040年には1,726人になると推計されている。球磨村は、70を超える集落が点在し、行政コストも高くなる。また、限界集落と位置づけされている地区も20地区



3年前の7つの公約は

(平成25年度現在)ある。今後、球磨村として維持していくためには、例えば、村内数ヶ所に人口を集中するなど、考えてみる時期に来ていると思うが。

柳詰村長 今、言われた村内数ヶ所に、利便性のある商店や病院、ガソリンスタンドなどあるコンパクトシティができれば、高齢者の方も安心できるのではないかと思う。難かしい問題だが、そのようなことを内部で話し合ったこともある。

多武議員 次に、運動公園のサクラドーム横の桜の木が、15本ほど伐採されている。何の理由で伐られたのかわからないが、現地を見た感想を。

柳詰村長 警備のためのケーブルが桜の上を通っており、枝がケーブルを押し上げ、断線の恐れがあるため伐採した。その後、現地を確認したが、想像を絶することで啞然とした。予想もしなかった事態に驚き、あきれてびっくりしている。来るべき春を待ち、つぼみが膨らんでいた桜の木に申し訳なく思う。

多武議員 桜を伐るのではなく、ケーブルを移動するべきだった。私も現地を見て、これが、日本で最も美しい村なのかということが、頭をよぎった。ぜひ、考え方まで日本で最も美しい村になってほしいと正直思った。

学校のトイレの整備は

〔答〕順次、洋式化している

舟戸 治生議員

1. 農林業の振興
2. 公共施設の整備
3. 光ファイバー網による情報通信施設

舟戸議員

農業振興について、農業用水の頭首工、水路などの維持管理は、基本的には農家がすべきものと思うが、高齢化や後継者不足で、管理が困難になっている。村として、対策はあるのか。

柳詰村長

施設の老朽化に伴い、漏水や破損するなどして、機能が著しく低下している施設については、農業基盤整備事業で、水路、頭首工の補修工事を、現在進めている。

舟戸議員

渡の小川川右岸の農業用水路も、老朽化して危険になっている。何か対策は。

川口建設課長

平成27年度で工事の概要をつくり、平成28年度で農業用水の補修事業で整備する予定だ。

舟戸議員

また、小川川の頭首工に土砂がたまっている問題と、千寿園上部にある分水路が、大雨時の水量

に対応できず、敷地に流れ込んでくるとの問題の対応策は。

川口建設課長

たまった土砂については、一級河川であるので、管理者である県にお願している。分水路については、対策を考えているところだ。

舟戸議員

次に、今後公共施設の改築や大規模な改修の時期がくると思う。そこで、村内建築業者が、入札に参加するための要件について詳しく説明を願いたい。

柳詰村長

村が行う入札に参加するには、指名願いが提出されることが前提となる。提出する際には、経営事項審査を受ける必要がある。しかし、専門性を有するため、村では審査できないことから、県が実施する審査結果を提出してもらい、入札資格の要件としている。したがって、経営事項審査のない指名願いは、本来ならば受け付けできない。しかし、村内の建築伝承や、地場産業の育成とともに所得の向上を図る必要から、村内の建築業者については、別の書類を作成してもらい、工事規

模により指名を行っている。

舟戸議員

公共施設の整備の中で、気になるのが学校のトイレである。一勝地小学校は、新しく整備され快適だと思うが、球磨中と渡小のトイレが気になっているが。

中根教育長

保護者からの要望もあり、順次、和式トイレは洋式化している。

舟戸議員

次に、光ファイバー網による情報通信施設で、テレビのデジタル放送や、インターネットが公設、公営で行われている。現在の加入者数は。

柳詰村長

平成23年度から運用を開始し、デジタルテレビ放送とインターネットの提供を行っている。現在の加入件数は、テレビが1,423件、インターネットが304件となっている。

舟戸議員

インターネットの利用世帯が少ないようだ。たとえば、高齢者が使いこなせるようになるための、学習の機会などの考えは。

部総務企画課長

平成23年度に運用



現在、1,423件の加入がある村営によるテレビ放送

を始めて、3年間は、インターネット教室を行ったことはある。しかし、参加者が少なかった。現在では、スマートフォンの性能がよくなり、どこでもネットが見られるようになった。今後は、利用料を安くするなりして、加入促進を図る必要がある。

舟戸議員

子ども達への指導はどうなっているのか。

中根教育長

学校教育の一環として、パソコン教室もあるし、総合的な学習の時間を使い、情報的な教育も行っている。

集落営農に向けての座談会の開催は

【答】要請があれば出向く

小川 俊治 議員

1. 農業分野における設置条例に基づく会議の開催について
2. 集落営農の推進について
3. 地産地消について
4. 産業振興対策事業補助金交付条例について

小川議員 農業分野における設置条例に基づく会議の開催状況について伺う。

柳詰村長

農業振興地域整備促進協議会は5年ごとの整備計画の全体見直しのために来年開催。特定農山村地域活性化推進協議会は中山間地域振興基金条例が廃止されており、規則の廃止手続をする。新山村振興農林業対策事業推進協議会は本村での設置は行わず、特別事業を行う場合のために条例を残している。新農業推進対策本部は毎年4月に開催している。幹事会及び推進会議については開催されていない。

宮本産業振興課長

球磨村農業再生協議会は本年臨時総会を開いた。

小川議員

条例に基づく会議について、整備できるものは整理してもらいたい。農業振興にとって重要な会議、趣旨を踏まえると、財政面もあるが回数が少ないのではないか。会議構成についても、多様な課題に対する対応ができる会議にしてもらいたい。農業振興も地方創生に向けて検討がされると思うが、後期基本計画の具体的取組との関連について伺う。

柳詰村長

不必要な会議もあり精査していきたい。創生本部を立ち上げ会議を開いた段階、この1年で方向性を決めて検討する。

小川議員

次に、集落営農について、後期基本計画でも出されているが、具体的な方針について伺う。

柳詰村長

村内に集落営農組織はない。大部分が中山間地域であり、集落営農の前提条件である基盤整備が遅れており、困難な状況。まず、集落機能の維持と集落を構成する小規模農家の支援を進める。集落営農組織化の希望があれば積極的に出向く。

小川議員

農業再生会議の協議項目

に集落営業の法人化に向けてとあるが、集落営農に対しての会議の内容について伺う。

宮本産業振興課長

議論された経緯はあるが、組織化にむけての動きが育成されていない。

小川議員

中山間地域としての厳しい条件はあるが、地域の合意形成を引き出すためにも、座談会の開催など一歩踏み込んだ取り組みはできないのか。

柳詰村長

村から積極的に取り組む考えはない。意欲的に取り組む地域からの要望があれば関係機関と連携して取り組む。

小川議員

次に、地産地消について伺う。村内における農産物で学校給食等、公施設における消費状況は。

柳詰村長

米の消費拡大のために、小中学校給食に週4回実施しており、地元産の消費拡大が図られている。あじさい会からの購入

もある。

小川議員

公施設等、需要はあるが供給システムがないことから、進んでいない状況、行政として供給システムを作る考えはないか。

柳詰村長

公施設等への供給や販売に前向きに考えたい。生産農家の盛り上がりで村が支援することは考えられるが不安もある。

小川議員

産業振興対策補助金の見直しだが、強い要望もある。できるものは早くしてもらいたい。



増える耕作放棄地



地域の宝 小川大王神社

小川地区 小川 祐弘

「大王さん、大王さん」小川地区のみんなから親しく呼ばれている。渡大王神社は、小川公民館の裏手、一段と高くなったところにあります。もとは渡小学校の運動場にあったのを現在地に遷座したものです。このころの様子を知る地区民もめっきり減りました。

祭神は、相良さんが球磨に入国する以前の渡村地頭と言われています。球磨村誌によると嘉吉年中再興（1400年頃）、正保4年本殿改築費1647年」と記載してあります。

球磨郡には大王神社と呼ぶものは、渡大王神社の他、矢瀬主馬助を祭った藍田の大王神社や、まむしで有名な木上大王神社など6か所ほどありますが、多くは相良入国以前からの豪族、平河（川）氏を祭神としてあり、渡大王神社の祭神もそうではないかとも考えられます。祭日は旧暦8月15日。

現在は、小川地区民の手で、夏の植え付け供養、秋の収穫祭が行われています。特に秋祭りは中秋の名月の日に行われ、いまではすっかり少なくなつた綱引きが子供会を中心に行われています。また、年始の初詣には、元旦の

早い時間から参拝客が来られます。維持管理も地区民により、両祭り前、年末の3回ほど草刈り等の清掃を行い、数年越しには古くなつた鳥居の建て替え工事も行っています。大王さんは、いつの世も小川地区、周辺の皆様を少し高くなつた所から見守り続けておられます。



編集後記

春は新旧が交差する季節、卒業・入学、退職・就職と様々な形で入れ替わる。村内でも多くの人が、安堵、希望、期待と不安を描きながら変化していく。

変えてはならないものもある。自然環境である。自然の恵みに感謝しながら、農業、林業、漁業に営々と励んできた先達の思いを引き継ぐことの大事さを忘れてはならない。

春の旬は筍。祖父から受け継いだ竹林からの1本。手入れが届かず、少し反省しながら鋏を入れた。新たな息吹が手に感じられる。

入学式の子供たち。チョッピリ不安そうな顔。たくましく成長してもらいたいと想いながら見守る。将来、この村に住みたいと感じる環境整備に汗をかこう。

（小川 俊治）

- 広報委員長 多武 義治
- 広報副委員長 犬童 勝則
- 広報委員 小川 俊治
- 広報委員 浅野 茂

発行 熊本県球磨郡球磨村議会
編集 議会広報対策特別委員会

〒869-6401 熊本県球磨郡球磨村大字渡丙1730番地
Tel (0966) 32-1111 Fax (0966) 32-1230
印刷/株協和印刷